

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	交通工学		担当教員	吉村優治, 毛利 勇・他 (非常勤)		
学年学科	5 年 環境都市工学科		前期	選択	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(D-2 設計・システム系) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)			
授業の目標と期待される効果： 本授業では、道路の整備や管理の実務に触れつつ、道路が社会の発展に寄与してきたことを理解するとともに、最新の道路施策の動向を通じて、我が国における道路整備等の方向性を見通し、地域や国土の課題解決を図るマネジメントの視点を養う。 具体的な目標は以下のとおりである。 ①道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割の理解 ②道路の計画調査や整備、管理や災害対応における重要視点の理解 ③我が国の自然条件や社会条件の特徴の理解と道路整備の取り巻く課題の理解 ④我が国における最新の道路施策の動向の理解 ⑤我が国及び中部地域における今度の道路施策のあり方の理解 ⑥道路舗装構造と設計方法の理解			成績評価の方法： 総得点数 110 点＝学習状況 (小テスト, 課題提出等) 100 点＋道路舗装厚の設計演習 10 点とし、総得点率 (%) で成績評価を行う。 なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。			
			達成度評価の基準： 国家公務員採用一般職試験 (大卒程度・土木), および技術士第一次試験と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。下記①～④の成績評価への重みは均等である。 ①道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割をほぼ正確に (6 割以上) 説明できる。 ②道路の計画調査や整備、管理や災害対応における重要視点をほぼ正確に (6 割以上) 説明できる。 ③我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題をほぼ正確に (6 割以上) 説明できる。 ④我が国における最新の道路施策の動向をほぼ正確に (6 割以上) 説明できる。 ⑤我が国及び中部地域における今度の道路施策のあり方をほぼ正確に (6 割以上) 論述できる。 ⑥道路舗装厚の設計方法についてほぼ正確に (6 割以上) 説明できる			
授業の進め方とアドバイス： 専門科目の知識の応用としての道路整備や管理の実務を理解させる。また、社会経済の状況と道路整備や施策との関係を概観することにより、地域や国土の課題を理解させ、解決に向けたマネジメントする視点を養う。そのため、まずは道路整備の歴史や役割を説明した上で、会得した専門科目の知識の応用としての道路の整備、管理の実務を説明する。後半部は、少子高齢化や地方創生などの社会経済情勢の変化を踏まえた国土交通省の最新の道路施策を説明するとともに、我が国や中部地域における課題を解決するための道路施策の方向性について論じる。授業は「複数教員担当方式」で実施する。担当は非常勤 (国土交通省中部地方整備局職員) であり、第 14 回の担当は <吉村優治>である。						
教科書および参考書： 教科書は使用せず、適宜プリントを配布する。						
授業の概要と予定：前期			教室外学修		A L のレベル	
第 1 回：道路の歴史と役割			道路の歴史と役割についてまとめる			
第 2 回：交道路の計画調査と整備			交道路の計画調査と整備についてまとめる			
第 3 回：道路整備の現場の視点 (現地視察) ①			現地視察についてまとめる		A	
第 4 回：道路整備の現場の視点 (現地視察) ②			現地視察についてまとめる		A	
第 5 回：道路の管理と災害対応			道路の管理と災害対応についてまとめる			
第 6 回：道路管理の現場の視点 (現地視察) ①			現地視察についてまとめる		A	
第 7 回：道路管理の現場の視点 (現地視察) ②			現地視察についてまとめる		A	
第 8 回：建設業の今後の展望と入札契約制度			建設業の今後の展望についてまとめる			
第 9 回：高速道路			高速道路についてまとめる			
第 10 回：道路の I T S			道路の I T S についてまとめる			
第 11 回：道路の渋滞対策・交通安全対策			道路の渋滞対策・交通安全対策についてまとめる			
第 12 回：他の交通モードとの連携			道路と他の交通モードとの連携についてまとめる			
第 13 回：身近な道路施策と地域との連携			身近な道路施策と地域との連携についてまとめる			
第 14 回：道路舗装の構造と舗装厚の設計			アスファルト舗装の設計方法についてまとめる			
第 15 回：道路の海外展開および中部地域における道路施策の方向性						

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割を正確に（8割以上）説明できる。	道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割をほぼ正確に（6割以上）説明できる。	道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割を説明できない。
②	道路の計画調査や整備、管理や災害対応における重要視点を正確に（8割以上）説明できる。	道路の計画調査や整備、管理や災害対応における重要視点をほぼ正確に（6割以上）説明できる。	道路の計画調査や整備、管理や災害対応における重要視点を説明できない。
③	我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題を正確に（8割以上）説明できる。	我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題をほぼ正確に（6割以上）説明できる。	我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題を説明できない。
④	我が国における最新の道路施策の動向を正確に（8割以上）説明できる。	我が国における最新の道路施策の動向をほぼ正確に（6割以上）説明できる。	我が国における最新の道路施策の動向を説明できない。
⑤	我が国及び中部地域における今度の道路施策のあり方を正確に（8割以上）論述できる。	我が国及び中部地域における今度の道路施策のあり方をほぼ正確に（6割以上）論述できる。	我が国及び中部地域における今度の道路施策のあり方を論述できない。
⑥	各種の地盤条件に応じて複数の舗装の設計が提案できる。	舗装厚の設計方法についてほぼ正確に（6割以上）説明できる。	舗装厚の設計方法について説明できない。